



医療法人錦秀会

阪和記念病院の患者様及びご家族様へ

診療情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

当院では、あなたの診療情報から得られた研究データを用いる、以下の疫学研究を実施しております。

この研究は、医療法人錦秀会の研究倫理審査委員会にて、研究内容が倫理的・科学的観点から問題ないかどうかについて十分な審査が行われた結果、承認を受け、理事長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行われますので、ご協力をお願い申し上げます。

ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合やこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による診療への不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を完全に削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【研究課題名】

クラゾセンタン投与が ADL の改善に与える影響 ―くも膜下出血症例の急性期から回復期における臨床経過の検討―

【対象となる方】

2023 年 5 月 1 日より 2024 年 4 月 30 日の間に、当院にて動脈瘤性くも膜下出血と診断され、外科的治療（クリッピング術またはコイル塞栓術）を受け、急性期病棟にてクラゾセンタンを投与された後、当院の回復期リハビリテーション病棟へ転棟した患者さま。

【研究責任者】

医療法人錦秀会 阪和記念病院 リハビリテーション部 課長 徳田 和宏

【研究の目的】

クラゾセンタンを投与された動脈瘤性くも膜下出血患者を対象に、急性期から回復期におけるリハビリテーションの進行と ADL の変化を後方視的に分析し、クラゾセンタンの使用や継続・中止が機能回復や転帰に与える影響を明らかにすることを目的とする。

【利用する診療情報】

- 身体項目（入院時）

生年月日、年齢、性別、身長、体重、Body mass index (BMI)

- リハビリテーション

急性期 2 週時点の FIM、回復期病棟入棟時および退棟時 FIM、リハビリテーション平均単位数、FIM 利得

- その他

発症部位、手術方法（クリッピング術／コイル塞栓術）、WFNS 分類、Fisher 分類、クラゾセンタン投与継続の有無および中止理由（副作用など）、気管内 挿管期間、症候性 CVS の有無、急性期合併症の有無（低 Na 血症、肺炎、心不全、深部静脈血栓症など）、離床開始までの日数、HCU 入室期間、回復期病棟入棟までの日数、在院日数、退棟時転帰

【利用する者の範囲】

研究責任者及び個人情報管理者のもと、研究情報は本研究の特定関係者のみで利用します。

【研究期間】

研究実施許可日より 2027 年 3 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【個人情報管理責任者】

阪和記念病院 事務長 末次 史知

【お問合せ先】

医療法人錦秀会 阪和記念病院 リハビリテーション部 課長 徳田 和宏
電話番号: 06-6696-5591

医療法人錦秀会 医務局 医学研究開発部 係長 井原 智美
電話番号: 06-6696-3150

※ ご連絡の際には、診察券番号とご氏名、ご連絡先番号をお知らせください。